

【資料 2-17】「研究を他者に語る」実施アンケート (平成 28 年度)

「研究を他者に語る」(平成 28 年度より開始)

- ・卒業予定学生が、自身の卒業論文・卒業研究の内容を異分野の教員(聞き役教員)に「説得的に」語ることを通じて、学術の知とその意義を専門外の人にわかりやすく語ることコミュニケーション能力を身につけるとともに、異分野の教員との議論を通じて自分の研究を相対化し客観視することで、多様かつ総合的な視点で物事を観る能力を培うことを目的とした制度
- ・卒業のために必須ではないが、原則としてすべての卒業予定者が対象となる。

(平成 29 年度『総合人間学部便覧』19 頁参照)

(人)

実施状況(人数)		
	人間科学系	34
	認知情報学系	33
	国際文明学系	18
	文化環境学系	15
	自然科学系	15
計		115

学生へのアンケート (%)

	学生	
自分の卒研・卒論にプラスになったと思いますか	1. そう思わない	17.1
	2. ややそう思わない	9.8
	3. どちらでもない	24.4
	4. ややそう思う	31.7
	5. そう思う	17.1
	無回答	0.0
計	100.0	
この試み全体はあなたにとって意義あるものでしたか	1. そう思わない	3.7
	2. ややそう思わない	7.3
	3. どちらでもない	12.2
	4. ややそう思う	47.6
	5. そう思う	29.3
	無回答	0.0
計	100.0	

指導教員・聞き役教員へのアンケート (%)

	指導教員	聞き役教員	
学生にとってプラスになるものでしたか	1. そう思わない	0.0	3.0
	2. ややそう思わない	8.5	3.0
	3. どちらでもない	17.0	11.0
	4. ややそう思う	38.3	42.0
	5. そう思う	34.0	40.0
	無回答	2.1	1.0
計	100.0	100.0	
この試み自体は意義あるものでしたか	1. そう思わない	10.9	5.0
	2. ややそう思わない	0.0	3.0
	3. どちらでもない	15.2	9.0
	4. ややそう思う	28.3	40.0
	5. そう思う	43.5	41.0
	無回答	2.2	2.0
計	100.0	100.0	